

②教育研究業績書

| | | | |
|---|---------------------------------|--|--------------|
| 2019年5月1日 | | | |
| 氏名 山村穂高 印 | | | |
| 認定を受けようとする課程における担当授業科目 | | | |
| 領域及び保育内容の指導法に関する科目 | 大学が独自に設定する科目 | 教育の基礎的理解に関する科目等 | 特別支援教育に関する科目 |
| | | ・保育の心理学（オムニバス） | |
| 教育上の能力に関する事項 | | | |
| 事項 | 年 月 | 概要 | |
| 1 教育方法の実践例 | 平成 23 年 4 月 | <p>「精神保健」（現：子どもの保健）において、授業の進め方を改善した。これまでこの科目を講義形式で行うに当たっては、私語、居眠り、遅刻、平常点の位置づけに課題があった。そこで、1コマ内の授業の組み立てをシステマチックにすることにより、これらの解決を図ることにした。</p> <p>①授業開始時と同時に小テストを行い、評価の対象とした。評価の概要は、次回の授業時に学生にフィードバックした。このことで遅刻を少なくすることができた。</p> <p>②その回の授業内容に入る前に、ビフォーシートに専門知識に関する自分なりの理解を記載してもらい、授業後には授業内容を踏まえたアフターシートに授業内容を記載させ、それを授業ごとに提出させ次回にシートの評価とともに返却した。このことで、授業内容をノートする習慣が養え、知識の定着が促せたと同時に授業中の作業量を増やすことができ、私語、居眠りの低減に役立った。</p> <p>③その回ごとの授業内容については、あらかじめテキストを踏まえたプリントを穴埋め形式で作成し、要点の整理と時間の節約に役立った。</p> | |
| 2 作成した教科書・教材 | 平成 25 年 12 月 平成 28 年 7 月 | <p>「Natural 保育検定テキスト」キャンパスの自然を活かし、草花名前やそれらにちなんだ遊び、絵本、紙芝居、手遊びなどを学習するための独自の検定である。検定のためのテキストを作成、編集した。</p> <p>「山村学園短期大学ポートフォリオ」保育学科で学習すべき知識、技能、態度について授業科目の進行を考慮に入れつつ、学生各人が自分の学習の達成度をチェックするツールとして、ポートフォリオを作成した。</p> | |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価 | | <p>法務省法務技官（7年間）の経験を生かし、「子どもの保健」「保育入門」「レクリエーション・野外活動」等を担当。また副学長として学長を支え、本学全般にわたってマネジメントなどに能力を発揮している。</p> | |

様式第4号（教員個人に関する書類）

| | | | | | |
|-----------------------|---|---|---------|--------------------|--|
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項 | 平成21年4月～ | 山村国際高等学校において本学保育学科との接続授業である「保育入門」を担当してきている。平成28年度からは保育技術検定2級を取得できるようコースの改変を行った。 | | | |
| 職務上の実績に関する事項 | | | | | |
| 事項 | 年月 | 概要 | | | |
| 1 資格、免許 | | 特記事項なし | | | |
| 2 学校現場等での実務経験 | 7年 | 法務省矯正局法務技官調査専門官として川越少年刑務所分類審議室に勤務し、犯罪者の人格や人格と犯罪との関連性、今後の処遇などについて調査し、犯罪性の判定を行った。 | | | |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 | | 特記事項なし | | | |
| 4 その他 | | 特記事項なし | | | |
| 担当授業科目に関する研究業績等 | | | | | |
| 担当授業科目 | 著書、学術論文等の名称 | 単著 共著 の別 | 発行年月 | 出版社又は発行雑誌等の名称 | 概要 |
| 子どもの心理学 | (学術論文等) 1. 「気になる子」の保護者への具体的な対応に関する先行研究について | 共 | 平成30年3月 | 山村学園短期大学紀要第28号・増刊号 | 平成17年に発達障害者支援法が施行されて以来、障害の早期発見・早期療育、教育・就労などにおける支援システムの確立が目指されてきたが、乳幼児健診や就学時健診では診断が確定できないケースも多くあり、いわゆる「気になる子」がクローズアップされてきた。中でも気になる子の保護者への対応は、幼稚園、保育園の保育者にとって非常に難しい課題となっている。本研究ではそれらの先行研究を調べ、 <u>気になる子の特徴、気になる子の保護者への対応の難しさとその要因、保育者と保護者の協働のプロセス</u> などをまとめ、 <u>保育現場で活用できる具体的な言葉がけ</u> について考察した。(pp: 1～10) 著者：山村穂高、卯月早帆 |